

# 刑事模擬裁判員裁判 裁判員を体験して

平成26年7月16日 昌平中学校3年生

## 体験してみてわかったこと・気が付いたこと

### 3年1組

- 評議の時、自分の発言する内容の重さ、人の人生を決める裁判の重み。
- 裁判をアニメやマンガなどでしか見たことがなく、一度見学しただけではよくわかりませんでした。でも、模擬裁判をやってみてどれだけ大変なのかよくわかりました。
- 判決の重みを理解できました。話し合うことの大切さと、それにかける時間の大切さに気付くことができました。
- 今回の模擬裁判は普通ではなかなかできない裁判をすることができてよかったです。いざ、やってみると他人の人生を変えることのできる判決だったので、評議はとても難しく感じられました。実際に6チームあって、半分は実刑となり、裁判員が変わることで判決も大きく変わることが実感できた時間でした。
- 他人の人生を決めるのがどれほどの責任があるのかといろいろなことがよくわかりました。
- 自分たちの考え、発言で他人の人生が決まるということが、とても重く、大切なことだと思った。また、社会の現状を知らない、同じ環境の中にいる自分たちがそれぞれ違う意見をもつことがとてもおもしろいと感じるとともに、そのようなことが原因で争いは生まれると思うので、争いは悪いことだと決めつけることは一概に言えるものではないと思う。
- 「傍観者」ではなく「裁判官および裁判員」の目線で裁判を見ることで、真剣に罪の重さを考えることができました。どのグループにもいろいろな理由と意見があり、「人を裁く」重大さがよくわかりました。評議では対立する内容が多く、糸口を得るためにより細かい内容を考えないといけなかったことがわかりました。
- 人によって判決が違う。どういう判決にすれば・・・か よくわからなかった。
- 判決を出すというのは難しいということ。難しい言葉がいっぱい出てくるということ。とても緊張感があるということ。
- 裁判の判決の重さ（執行猶予にするかしないか等）。
- 人を裁くことは重要なことで、人の人生を左右することがわかった。
- 緊張感がすごかった。学年で半分に割れた。人の人生がかかっているのですごく集中していた。
- 被告人だけに質問するのではなく、証人などをうまく使っていたためとてもわかりやすかった。
- どのように裁判が行われるのか裁判員目線でよくわかった。
- 人によって執行猶予にするか実刑にするか違うことがわかった。大人になったら、裁判員裁判によばれることがあると思うので、模擬裁判を体験できてよかったです。
- 裁判の評議は思った以上に時間がかかるということがわかった。
- 本物の裁判と同じで空気が重かった。どちらかひとつに決めるのは、とても大変だと改めて思った。意見を言うことの大事さを知った。
- 裁判の細かい流れや雰囲気がわかった。
- 被告人や証人みんなに裁判官からの質問があることがわかった。
- やっぱ人生が決まるということで空気が重かった。被告人のつらさがわかった。
- 6月に裁判を見て実際に自分が今日やってみて裁判の進め方やどのようなものなのかよく知ることができました。
- 裁判の緊張感を感じられてその場の雰囲気がよくわかりました。

- 裁判所に行って見ただけではよくわからなかった裁判の進め方や手順などがわかりやすくわかりました。判決の仕方、評議をするとき、懲役は何年以上とか細かいところまでわかりました。
- 裁判が近くで見れて人の人生が左右されるようなすごい体験ができて良かったです。判決を言い渡される被告人はすごいドキドキするんだろうなと思いました。
- 実際に自分たちで判決をしてよく言葉の意味を理解していなかった執行猶予などの意味がしっかり理解できました。あと、6チームあってそれぞれのチームの判決が違って、考えることはみんな違うこともわかりました。
- 裁判は私が知っている以上にたくさんの人たちが関わってできていることがわかりました。裁判はみんな違う意見を持つなかで進んでいき、一つ一つの裁判すべて正解があるわけではないことがわかり、裁判をするには自分の率直な意見を述べるのが何よりも大切だと思いました。
- 裁判員は質問をたくさんしていいということがわかった。同じ裁判を見ていても、判決が分かれることに驚いた。

### 3年2組

- 「判断する」ということがここまで決め難いのは初めてでびっくりしました。そして、一つの裁判で被告人の人生が決まるというのは裁判長、裁判官にすごく責任があるということがわかりました。
- 模擬裁判だからもっとゆるい感じかと思ったら、前に見た裁判よりテレビ寄りでもとても面白かったです。裁判員はたくさん（いろんな）質問ができるんだなと思った。
- 人の人生を左右するのはものすごく重いことだと思った。シュミレーションでもこんなに大変なのに本番はかなり難しいことだとわかった。
- 裁判員による話し合いは判断がすごく難しいことがわかった。被告人は質問を多くされると矛盾したことを言うてしまうこともあるんだなとわかった。
- 意見がひとつにはならないこと。意見が2つに割れること。
- わかったことは、判決を決めるときどの意見も正しくてずっと平行線をたどっていたということです。そのため多数決はあるんだということがわかりました。気が付いたことは、質問を多くすることにより矛盾点やゆさぶりをかけているのかなと思いました。
- 裁判の流れ。花村さんの行っていることの矛盾。
- 人の罪に対して、慎重に話し合わないといけないと感じた。
- 判決で実刑になるか執行猶予になるかで被告人の懲役などが終わった後の人生がかなり変わってくるということがよくわかった。
- 裁判の判決の決まり方や方法。評議がどのような感じで行われているか。
- 判決のときには意見が割れてなかなか意見がまとまらなかった。同じ内容を聞いていても人それぞれ注目している部分が違って意見もそれぞれの考えが違ってのことだとわかった。
- 裁判員の方からみると、どれが信用できるかわからない。
- 裁判長の話し方が優しい。全体的に被告人の人権が守られている流れだと思った。
- 裁判を実際に見てみるよりも体験してみてもとてもよくわかった。
- 被害者や被告人の気持ちを考えるようになった。裁判は人の人生を左右するものなので、次にもし見た際はよく考えておきたい。
- 被告人の判決をどうするか決めるときにみんなと真剣に話し合いをしたので緊張した。
- 裁判の主な進め方や行い方がわかった。
- 模擬裁判を通して人の人生がかかっていることなどはまったく身近になかったけど、少しだけ身近に感じる事ができた。普通の授業では触れないところまで触れてくれた。
- けっこう静か、ゆっくりしている、普通の話し合い。

- 質問をしたり、弁護人や検察官の話を聞いているうちに自分はどう思えばいいかわからなくなっていました。正反対の意見でもそれぞれ納得できました。
- 被告人の意見を直接聞くことができ、検察や辩护人、裁判員が意見や質問が言えるということ。休廷があり、裁判員同士で話し合えること。
- 同じ裁判を見たのに、グループで意見が同じではなかったので、裁判員制は平等ではないという問題があるのだと思いました。
- 1人1人の意見が違って、人の捉え方の違いがわかりました。模擬裁判を実際に体験して先生の説明でよくわからなかったこともわかりました。
- 兄と近所の人意見を聞いて矛盾しているところもあるんだと少し思いました。模擬裁判であったとしても辩护人と検察官の意見の訴えは必死なんだと感じました。悪意はなかったにしても、人を殺すということはとても重い罪だと思いました。本当にいい体験だったと思います。
- みんなが同じ裁判を聞いているのに、班それぞれ違う意見が出ていた。母の視点になったり、いろいろ考えて答えをだしました。
- 弁護側の証人と検察側の証人の言っていることが少し違っていたかなと感じました。
- 裁判では小さな証拠でも見落とさずに裁判を進めていくので改めてすごいなと思った。辩护人と検察官のどちらの言っていることも納得できて判断するのが難しかった。
- 人の人生を決めることはとても重く感じました。
- 辩护人側の証人と検察官側の証人がたまに言っていることが矛盾していた。たくさん人がいるほどいろいろな意見が出てきて、全員同じ意見にはならないとわかった。

## メッセージや感想など

### 3年1組

- 実際に模擬裁判を体験して、本格的で、本物の裁判を思い出しました。あと、被告人のこれからの人生を決める判決もよく考えてできました。今まで以上に裁判について考えられたし、わかったことも増えました。
- 今回初めてこのような体験をして、本物の裁判をしているようで、真剣に裁判を聞き判決を考えることができました。  
人それぞれ違う意見を持った中で話し合い、何かを決めることは裁判のほかでもこれからたくさん出てくると思うので、今日のこの経験を活かせるよう積極的に物事を考えるようにしたいと思います。
- 実際に見たり聞いたりして難しそうでわからなかったことも今日わかってよかったです。仕組みが理解できたので、もし将来選ばれても困らないと思います。
- 私は今まで法などを意識したことがありませんでしたが、裁判に関わる人たちがとてもカッコよく、すごいと思い、私も裁判やそのようなことに関われたら今日の事を思い出してがんばろうと思いました。
- 裁判を本格的にやったださりありがとうございます。この経験を活かしていきたいと思います。
- 何度もできる体験ではないので、すごく貴重でよかったです。もし将来裁判員に選ばれても、この体験を生かし、しっかりと臨めるなと思った。
- 体験授業をさせていただき、ありがとうございます。今回の経験を20歳以上になったときに役立たせたいです。
- とても貴重な体験ができたと思います。今日は本当にありがとうございます。
- 模擬裁判はとても大事な仕事であり、大きな責任を伴う仕事であり、やりがいがあるのでと感ぜられました。このような機会を作っていただきありがとうございます。

- 今回の体験は今後生きていく上で、いい経験になったかなと思います。
- 自分は一時期、司法系に進みたいと考えたことがあります。まだわかりませんが、機会があれば國學院大學も考えようと思います。とても現実味のある模擬裁判でした。勉強になりました。
- 細かい一つ一つの事柄をどうつなげていくかを考えるのが、大変難しかったです。この経験を通して裁判だけでなく、細かい一つ一つの小さなことであっても丁寧に対応していくことが大切だと考えました。評議の段階になってから、改めて被告人に聞きたいと思うことが出てきてしまい、苦労しました。傍聴している間もすばやく論を立てすぐに足りない情報がみつけれられるようにしないといけないと思いました。最後になりますが、一生に一度なるかならないかもわからない「裁判員」を体験できるこのプログラムは大変素晴らしいものだと思います。今後もぜひ他校へも広めていっていただけると幸いです。
- 今回とても貴重な体験をさせてもらってありがとうございます。自分が裁判員に選ばれたら今日の経験を活かしたいです。
- とても良い体験、めずらしくなかなか体験することができて良かったです。
- とても緊張した議論が白熱し良かった。裁判員裁判の予習だと思えたので、もし選ばれても大丈夫だと思います。
- いろんな裁判を傍聴したいと思った。
- とてもおもしろい体験ができました。楽しかったです。
- 本日は、とてもわかりやすく説明・体験をさせていただき、ありがとうございます。これからのお身体に気を付けて頑張ってください。僕たちも今回の体験を生かし精進していきます。
- 裁判の仕組みがよくわかった。
- 裁判をするとき、緊張しないでがんばってください。
- 今回の模擬裁判を体験させていただいて、とてもためになりました。今後の授業や生活にも役立てていきたいと思いました。
- 模擬裁判をしていただき、ありがとうございました。やっぱり人の人生を決めるところは模擬だとしても大変だと改めて実感しました。私も将来もしかしたら裁判員になるかもしれません。その時に備えて模擬裁判という貴重な体験ができてとてもうれしいです。
- 実際に裁判官の席に座れて楽しかったです。法服は着られなかったけど、緊張感をもって体験でき、自分が将来選ばれたときの良い経験となりました。みなさんの名演技すごかったです。寝てたのも演技ですか？
- 緊張しないようにがんばってください。
- 今までより興味が持てるようになりました。刑事模擬裁判員裁判を体験してなにか役に立てばよいなと思いました。
- 演技が上手で、本当の裁判を見ているような気がしました。裁判の内容や順番も知ることで良かったです。

### 3年2組

- 裁判を体験するのは初めてだったので楽しみにしていました。思った以上に面白くてとても楽しかったです。20歳以上になって裁判員に選ばれても今日一度体験したので堂々とできると思います！！とてもいい勉強になりました。すばらしい授業をありがとうございました。
- 模擬裁判を通して、自分が思っていることと他人が思っていることがよくわかったし、ものすごく面白くて集中して見聞することができました。正直裁判のことなどあまり知らなくて関心もなかったのですが、今回の模擬裁判を通して興味が湧きました。家に帰ったら、裁判についていろいろ調べてみようと思います。
- 自分の一言でその人の人生が変わるといのはとても緊張することで、とても難しいことだとわかりました。今回の体験で、裁判がどれだけ重いものか少しだけ実感できた気がします。
- 模擬裁判をやってみて裁判の仕方や方法がわかったのはとてもいい経験になったと思います。みんなとても

演技が上手でわかりやすかったです。

- 見ていてとても面白かった。自分が将来大人になってやるかもしれないのでとても役に立った。
- 自分の班では実刑になってしまったが、最終的には執行猶予になって自分の意見が通った気がして嬉しかった。
- 今回模擬裁判をしていただきありがとうございました。本物の裁判をこの模擬裁判の前に見たのですが、どれもまともではなく、裁判の考えがよくわからない状況でしたが、とてもまともで真剣に模擬裁判をしてくださったことにより本来の裁判をこういうものなんだとわかりました。
- 判決を決めるときは意見がまとまらず焦った。それぞれの意見がなかなかまとまらなかったが、その協議の時間はとても楽しかった。裁判も楽しくて時間が過ぎるのがあっという間だった。
- 事件を裁判するのは難しい。事件のない平和な世の中になってほしい。
- 評議が難しかった。役の人がとてもリアルだった。
- どのように裁判が行われるのかとか、これから裁判を見た時にわかるようになった。
- 模擬裁判は僕たちが裁判員制度で裁判員に選ばれたときに必要なことだと思ったので、とても勉強になった。
- このような体験ができて良かったと思った。判決を言うときは緊張した。
- このような全然身近にないような体験をさせてもらってとても楽しかった。自分自身で法などについて調べたくなった。
- 見てておもしろくはなかったけど、感動はあった。被告人への接し方が丁寧なのが印象的だった。
- 判断する人によって判断は変わると言われて確かにそうだなと気づき、軽い罰の方が与えやすいなと思いました。重い責任があるので実刑にする勇気は出づらいです。
- 今回初めて模擬裁判を体験して、たくさん学ぶことができました。大人になって裁判員に選ばれたとしたら今回の模擬裁判の経験を活かしたいと思っています。
- 今回はそんなに重い罪ではなかったけど、これがもっと重罪だったら人を裁くというのは重いので、裁判員は精神的につらいのだろうと思いました。
- 今回自分たちで実際に判決を下しましたが、本当に意見がはっきり分かれたことにびっくりしました。自分たちが正しいと思って判決を下しても、他の班の意見で納得するところも多々あり、被告人の人生をも決めてしまう判決を下すことは、本当に難しいことだなと実感しました。私たちは東京地裁で一度裁判を見学したからこそ、それも活かされて判決を下せたと思います。
- 人を裁くので、とても真剣に考えることができました。裁判員になることはあるかもわからないけれど、今回の模擬裁判はとてもよい経験になりました。
- 模擬裁判だったけど、意見がいろいろ出て面白かったです。貴重な体験だと思います。
- 裁判の緊張感や裁判独特の雰囲気を感じられてとても良い経験になった。大人になって裁判員にもなったら、その時、中学生のころに経験したこのことを思いだして自分なりにきちんと意見をもって参加しようと思いました。
- 今回のようなことはなかなか味わうことはできないので、とても新鮮に感じられました。
- 模擬裁判を体験して、人の命を左右する決断がどれだけ重要なことかがよくわかりました。

以上